



平成24年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月6日

上場会社名 立川ブラインド工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7989 URL <http://www.blind.co.jp>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)立川 光威
 問合せ先責任者 (役職名)常務取締役管理本部長 (氏名)竹中 伸也 TEL 03-5484-6142
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月6日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年12月期第3四半期の連結業績(平成24年1月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第3四半期	27,954	3.3	1,240	14.8	1,257	14.0	424	△7.9
23年12月期第3四半期	27,065	△1.7	1,081	36.8	1,103	31.7	460	136.8

(注) 包括利益 24年12月期第3四半期 579百万円(30.8%) 23年12月期第3四半期 442百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年12月期第3四半期	21.81	—
23年12月期第3四半期	23.68	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年12月期第3四半期	44,260	30,786	60.3
23年12月期	43,425	30,446	60.8

(参考) 自己資本 24年12月期第3四半期 26,690百万円 23年12月期 26,384百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年12月期	—	5.00	—	5.00	10.00
24年12月期	—	5.00	—		
24年12月期(予想)				5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年12月期の連結業績予想(平成24年1月1日～平成24年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	38,900	4.6	1,690	9.2	1,650	4.0	590	△3.6	30.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

24年12月期3Q	20,763,600株	23年12月期	20,763,600株
24年12月期3Q	1,300,694株	23年12月期	1,300,285株
24年12月期3Q	19,463,172株	23年12月期3Q	19,463,705株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表の四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想の前提となる条件等については、四半期決算短信 (添付資料) 3 ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要等を背景に持ち直しの動きが見られましたが、世界景気の減速や円高の長期化等により、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループ関連の建設・住宅業界においては、住宅着工戸数は復興需要等により緩やかな回復基調にあるものの低水準で推移するなど、当社を取り巻く環境は依然として厳しい状況でありました。

このような環境の下、室内外装品関連事業においては、省エネ効果のある製品を積極的に市場導入するなど製品ラインナップの拡充を図るとともに、これら新製品の提案を中心とした新商品発表会の実施や新たな販促物の投入による売上の拡大に取り組んでまいりました。

また、駐車場装置関連事業においては、主力製品である「くし歯式駐車場装置パズルタワー」の全面見直しに向けた取り組みに着手するとともに、改造・改修工事等のメンテナンス活動を強化し、受注の拡大に努めてまいりました。

減速機関連事業においては、産業用機械向け販売を中心にマーケティング活動を強化し、お客様の要求を満たす製品の開発・設計に努めてまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は27,954百万円(前年同期比3.3%増)、営業利益は1,240百万円(前年同期比14.8%増)、経常利益は1,257百万円(前年同期比14.0%増)、四半期純利益は424百万円(前年同期比7.9%減)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

[室内外装品関連事業]

多様なニーズに応えるとともに、売上向上を目指して、本年7月に生地ラインナップのリニューアルや新たなスタイルで窓まわりのトータルコーディネートを提案すべく、ローマンシェードとカーテンで展開するファブリックスシリーズ「クレアス」ならびにプリーツスクリーン「ペルレ」をリニューアル発売しました。タテ型ブラインド「バーチカルブラインド」においては高い省エネ効果のある「遮熱スラット」の増強や、デザインを含めた機構部の改良を行い、リニューアル発売しました。また、省エネ・節電効果が期待でき、外窓と内窓の間のわずかなスペースに取り付け可能な新タイプ「シルキーカーテン内窓タイプ」を発売しました。

さらに9月にはブラインドの優れた機能を追求し、細部にまでこだわった高機能ブラインド「パーフェクトシルキー」を発売しました。

また、全国14都市で「Step-窓から始まる新しい生活」をテーマとした新商品発表会を開催し、新製品等の早期市場浸透に取り組んでまいりました。

以上により、売上高は24,017百万円(前年同期比2.5%増)となり、営業利益につきましては、売上高の増加により、992百万円(前年同期比4.2%増)となりました。

[駐車場装置関連事業]

主力製品であるパズルタワーが堅調に推移したことに加え、保守ならびに改造・改修工事において提案活動の充実に努めたことにより、売上高は1,801百万円(前年同期比23.6%増)となりました。営業利益につきましては、売上高の増加に加え、継続的な原価低減に努めた結果、168百万円(前年同期比338.7%増)となりました。

[減速機関連事業]

お客様のニーズの把握や製品認知度の向上に努めるとともに、市場の変化に対応した製品開発に取り組んでまいりましたが、厳しい受注環境にあり、売上高は2,134百万円(前年同期比2.0%減)となりました。営業利益につきましては、原価低減と生産性の向上に努めましたが、売上高の減少により、79百万円(前年同期比11.6%減)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は44,260百万円で、前連結会計年度末と比較し834百万円の増加となりました。

(資産)

流動資産は26,625百万円で、前連結会計年度末と比較し397百万円の増加となりました。これは主に、現金及び預金、受取手形及び売掛金が減少した一方で、たな卸資産が増加したことによるものであります。

固定資産は17,635百万円で、前連結会計年度末と比較し437百万円の増加となりました。これは主に、有形固定資産の取得と保有株式の時価の上昇等により投資有価証券が増加したことによるものであります。

(負債)

負債は13,473百万円で、前連結会計年度末と比較し495百万円の増加となりました。これは主に、支払手形及び買掛金の減少があった一方で、賞与引当金の増加があったことによるものであります。

(純資産)

純資産は30,786百万円で、前連結会計年度末と比較し339百万円の増加となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金の増加および四半期純利益計上によるものであります。なお、自己資本比率は60.3%と、前連結会計年度末と比較し、0.5ポイントの減少となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、国内景気は世界景気の減速等を背景として当面は弱めの動きが続くと見込まれ、また欧州や中国等、対外経済環境を巡る不確実性は高く、世界景気のさらなる下振れや金融資本市場の変動等により国内景気を下押しするリスクが存在し、先行き不透明感が続くものと予想されます。

このような環境の下、引き続きお客様の多様なニーズに応えるため、省エネ関連製品の開発や製品ラインナップの拡充を図り、さらなる売上向上及び収益確保に努めてまいります。

これらを踏まえ、平成24年12月期の通期の連結業績予想につきましては、現時点において平成24年2月10日に公表しました予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,296,329	8,252,478
受取手形及び売掛金	11,735,415	11,626,143
商品及び製品	731,265	868,250
仕掛品	1,280,026	1,268,672
未成工事支出金	173,637	230,100
原材料及び貯蔵品	2,862,042	3,171,820
その他	1,186,394	1,248,419
貸倒引当金	△37,083	△40,746
流動資産合計	26,228,026	26,625,140
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	12,708,677	12,555,478
減価償却累計額	△7,907,777	△7,667,464
建物及び構築物(純額)	4,800,899	4,888,013
土地	7,384,285	7,314,565
その他	13,210,814	13,754,556
減価償却累計額	△12,019,445	△12,326,937
その他(純額)	1,191,369	1,427,619
有形固定資産合計	13,376,554	13,630,198
無形固定資産	266,709	431,411
投資その他の資産		
投資有価証券	1,149,090	1,267,741
その他	2,548,271	2,370,681
貸倒引当金	△142,946	△64,700
投資その他の資産合計	3,554,415	3,573,722
固定資産合計	17,197,680	17,635,332
資産合計	43,425,706	44,260,472

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,681,527	6,493,418
未払法人税等	352,461	337,405
賞与引当金	179,317	652,353
役員賞与引当金	48,660	39,928
製品保証引当金	671	3,081
その他	1,800,465	1,985,811
流動負債合計	9,063,104	9,511,998
固定負債		
退職給付引当金	3,529,875	3,393,346
役員退職慰労引当金	278,331	279,749
その他	107,562	288,824
固定負債合計	3,915,768	3,961,920
負債合計	12,978,872	13,473,919
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,475,000	4,475,000
資本剰余金	4,395,000	4,395,000
利益剰余金	18,377,168	18,607,020
自己株式	△666,077	△666,255
株主資本合計	26,581,090	26,810,764
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△162,965	△88,069
繰延ヘッジ損益	631	△482
為替換算調整勘定	△34,007	△31,433
その他の包括利益累計額合計	△196,341	△119,985
少数株主持分	4,062,084	4,095,773
純資産合計	30,446,833	30,786,553
負債純資産合計	43,425,706	44,260,472

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)
売上高	27,065,244	27,954,288
売上原価	15,715,844	16,329,129
売上総利益	11,349,399	11,625,159
販売費及び一般管理費	10,268,258	10,384,280
営業利益	1,081,141	1,240,879
営業外収益		
受取利息	2,353	2,505
受取配当金	21,540	23,142
不動産賃貸料	31,945	26,120
その他	55,885	53,009
営業外収益合計	111,725	104,778
営業外費用		
支払利息	153	13
手形売却損	16,089	20,771
売上割引	53,361	54,289
その他	19,817	12,716
営業外費用合計	89,421	87,790
経常利益	1,103,445	1,257,866
特別利益		
固定資産売却益	916	35,724
投資有価証券売却益	1,289	—
貸倒引当金戻入額	5,394	—
特別利益合計	7,601	35,724
特別損失		
固定資産除売却損	5,406	65,794
減損損失	—	60,828
投資有価証券評価損	26,564	7,619
投資有価証券売却損	—	15
会員権評価損	296	300
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	1,300	—
特別損失合計	33,567	134,557
税金等調整前四半期純利益	1,077,479	1,159,033
法人税、住民税及び事業税	586,812	707,688
法人税等調整額	△10,107	△45,477
法人税等合計	576,704	662,211
少数株主損益調整前四半期純利益	500,774	496,822
少数株主利益	39,787	72,338
四半期純利益	460,987	424,484

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	500,774	496,822
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△52,504	81,402
繰延ヘッジ損益	△242	△1,113
為替換算調整勘定	△5,062	2,574
その他の包括利益合計	△57,809	82,862
四半期包括利益	442,965	579,685
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	403,232	500,840
少数株主に係る四半期包括利益	39,732	78,844

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自 平成23年1月1日 至 平成23年9月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	室内外装品 関連事業	駐車場装置 関連事業	減速機 関連事業			
売上高						
外部顧客への売上高	23,429,363	1,457,832	2,178,048	27,065,244	—	27,065,244
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	48,007	48,007	△48,007	—
計	23,429,363	1,457,832	2,226,055	27,113,251	△48,007	27,065,244
セグメント利益	952,924	38,457	89,759	1,081,141	—	1,081,141

(注) 1 セグメント売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成24年1月1日 至 平成24年9月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	室内外装品 関連事業	駐車場装置 関連事業	減速機 関連事業			
売上高						
外部顧客への売上高	24,017,407	1,801,892	2,134,989	27,954,288	—	27,954,288
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	56,701	56,701	△56,701	—
計	24,017,407	1,801,892	2,191,691	28,010,990	△56,701	27,954,288
セグメント利益	992,763	168,732	79,383	1,240,879	—	1,240,879

(注) 1 セグメント売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。